

遠野文化フォーラム

なぜ、遠野は河童なのか？



上 遠野と河童の関係について意見を交わす出演者 右 本山市長と遠野文化賞を受賞した呉密察氏

遠野の豊かな文化的資源を生かしたまちづくりを考える「遠野文化フォーラム」(遠野文化研究センター主催)は8月18・19の両日、あえりあ遠野で開催され、市内外から180人が参加しました。

18日はあえりあ遠野中ホールで、カッパを題材とした映画『河童のクゥと夏休み』の上映と、遠野文化研究センター顧問である西館好子氏による映画の解説が行われました。

19日は同所交流ホールで開かれ、遠野文化賞表彰式や遠野遺産と語り部の認定証交付式、カッパおじさんによる「河童淵今昔物語」やトークライブなどを実施。遠野文化賞は、遠野の偉人・台湾人類学の先駆者である伊能嘉矩が残した資料の全貌解明に尽力した呉密察氏(台湾国史館館長)と胡家瑜氏(国立台湾大学教授)夫妻が受賞しました。トークライブでは「なぜ、遠野は河童なのか」をテーマに、有識者たちが意見を交換。訪れた人たちは、遠野とカッパの関係性に理解を深めました。

新たに認定された遠野遺産

※番号は遠野遺産認定番号

- 151 月山神社(綾織、有形文化遺産)
- 152 蘭場の山神社(宮守、有形文化遺産)
- 153 上宮守西風の石碑群(宮守、有形文化遺産)
- 154 中斉駒形神社(達曾部、有形文化遺産)
- 155 上宮守神楽(宮守、無形文化遺産)
- 156 湧水念仏(達曾部、無形文化遺産)
- 157 迷岡駒形神社と一里塚(鱒沢、複合遺産)

8月12日 i・clubサマープログラム! 2018

新しい遠野の未来を考える

新しい未来づくりの手法を学ぶサマープログラムは、遠野みらい創りカレッジで行われました。同プログラムには、市内外の大学生と高校生31人が参加。6次産業化・遊休資源活用・共生社会をテーマに学生らが考えた遠野の明るい未来を発表しました。参加者は新たな発想の実現を期待し、胸を弾ませました。



学生が寸劇を交えてアイデアを発表

8月21~24日 大府市小学生都市間交流

カッパさん出ておいでー!

友好都市・愛知県大府市から小学生20人が遠野を訪れ、4日間の日程で夏の遠野を満喫しました。遠野小学校を訪れた児童らは、同校6年生とゲームや給食と一緒に楽しみ交流。また、東日本大震災での取り組みを学習したほか、カッパ釣りやわら馬づくり体験、ジンギスカンなど遠野の魅力を味わいました。



カッパ淵でカッパ釣りに挑戦した大府市小学生

8月15日 第28回遠野納涼花火まつり

郷土に響く5,000発の彩り

夏の風物詩「遠野納涼花火まつり」が早瀬川緑地公園グラウンドで行われ、市民や帰省客が光と音のショーを楽しみました。今年は、約500もの企業・団体・個人から多くの協賛を得て開催。スターメインなどの色鮮やかな花火が次々に打ち上げられると、会場には拍手や歓声が広がっていました。



心配された雨も上がり、花火が夜空を鮮やかに彩りました

7月27日 チャレンジ防災スクール

災害時の対応を学ぶ!

さまざまな訓練を通じて防災について学ぶ同スクールは、市総合防災センターで開催。市内8小学校から参加した4~6年生の児童25人は、楽しみながら万が一の際の対応を学びました。参加した児童らは、煙の充満した部屋からの避難方法や放水訓練などの実技に挑戦。防災についての理解を深めました。



消火器の取り扱い方も勉強しました

8月10日 千葉家の裏山で秘密基地づくり

自分たちだけの秘密基地!

綾織児童館は、千葉家文化に親しんでもらおうと同所の裏山で秘密基地づくりを行いました。基地づくりには、1~6年生まで25人が参加。カヤや木材など千葉家を建てる時に使われた材料と道具で基地づくりに挑戦しました。子どもたちは道具の使い方を教わりながら、思い思いの基地を完成させました。



基地にはブランコやハンモックも設置!

7月25日 特養老人ホーム成仁ハウス百年の里(大船渡市)でお祝い

上郷町の荻野ユリさん100歳

ユリさんの100歳を祝う会が開かれ、家族や施設入所者らが祝福。記念品と花束が手渡されると、ユリさんは笑顔で受け取りました。ユリさんは大正7年に現在の二戸市福岡で生まれ、本市の定見さん(故人)と結婚し、酒造を営みながら子ども3人を育て上げました。現在は同所で穏やかに過ごしています。



記念撮影でにっこりほほむユリさん

8月4日 遠野物語よみかたりと落語

遠野物語を新たな表現で

遠野物語「おしらさま」を読み聞かせと落語で表現する同講演会は、みやもりホールで開催されました。会場では、読み聞かせボランティアの高橋好子さんの読み聞かせと遠野市出身の落語家・六華亭遊花氏のおしらさまをモチーフにした創作落語が披露。訪れた60人は読み聞かせと落語に聞き入っていました。



東北弁の落語で笑いを誘う六華亭遊花氏

伊香学^{まなぶ}のチャタナーガNOW! Vol.4

~9月15日姉妹都市1周年記念~

米国チャタナーガ市との交流を、派遣職員・伊香がお伝えします!

6月に来遠したCSAS校の派遣生らは、8月10日にチャタナーガ市役所を訪れ、遠野での交流の成果を報告しました。報告会では、遠野で受けたおもてなしや人生を変える経験になったこと、言語の壁はあったが遠野にファミリーができたことなど、一人一人が印象に残ったことを発表。アンディー・パーク市長は「長年の交流を支え

てきたルーザ・メシッチ氏に感謝する。遠野と今後も交流を続けていくため、チャタナーガ市代表として遠野を訪問してくれたことをうれしく思う」と派遣生をねぎらいました。

1_遠野で体験したことを、パワーポイントとビデオ映像で報告 2_来遠した派遣生らと記念撮影。交流事業を通し、両市の絆はより強いものとなりました

